

環境月間（6月1日～30日）



不法投棄防止パトロール実施



■令和元年度 不法投棄防止パトロール結果

支部	実施日	参加人数	不法投棄	不適正保管	野焼き	その他	合計
名古屋支部	5月30日（木）	9名	『No 不法投棄』のステッカーを車両に貼り、不法投棄防止を呼びかける活動を展開した。また、『No 不法投棄』のステッカーを支部会員に配布した。				
尾張西支部	6月13日（木） ～28日（金）	35名	8（13）	3（5）	0（0）	0（0）	11（18）
尾張北支部	5月22日（木） ～31日（金）	20名	15（12）	4（3）	0（0）	0（4）	19（19）
尾張南支部	5月31日（金）	23名	名鉄知多半田駅東口で知多県民センターと合同で、街頭活動によるごみの不法投棄防止を呼びかける啓発活動を展開した。				
西三河支部	5月30日（木）	32名	1（0）				
	6月27日（木）	19名	0（3）	0（2）	0（0）	1（0）	1（5）
東三河支部	6月18日（火）	14名	13（11）	1（6）	0（0）	0（1）	14（18）
合計	-	152名	37（39）	8（16）	0（0）	1（5）	46（60）

※（ ）内は、平成30年度の実績を示す。

名古屋支部

不法投棄防止のステッカーを社用車に貼り、啓発活動を広域にアピール

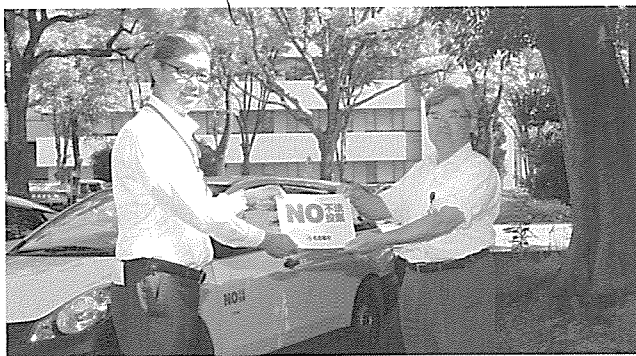
名古屋支部（新美三良支部長）不法投棄防止パトロールが、5月30日（木）“ごみゼロの日”午前8時30分から、名古屋市役所本庁舎（名古屋市中区）玄関前で支部会員5名、名古屋市環境局から5名（事業部廃棄物指導課長 中西岳志氏、同部廃棄物指導係長 大島祥弘氏、同部廃棄物指導課技師 村瀬元貴氏、同部廃棄物指導課技師 服部圭太朗氏）、事務局からは事務局長 小坂元信氏が

出席して、不法投棄防止活動を行いました。



挨拶をする新美支部長

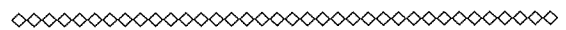
開会の挨拶で新美支部長は、「今年も環境月間を迎え、昨年引き続き今年の不法投棄防止活



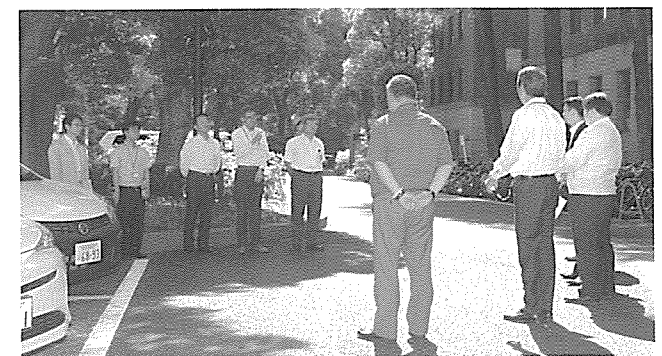
動は、『NO不法投棄』のマグネットステッカーを支部会員全員へ2枚ずつ配布しております。是非社用車に貼っていただき、市内を巡回してアピールしていただくことを願っております。

『NO不法投棄』と書かれた、黄色地、赤文字のマグネットステッカーはとても目立ちます。廃棄物の不法投棄防止の啓発として、抑止力になるのではないかと考えております。今年度も名古屋支部会員は、年間を通して廃棄物の不法投棄防止の啓発活動に貢献してまいります。」と述べました。

続いて副支部長の清水善実氏から、参加していただきました行政の方々にも、マグネットステッカーを貼っていただくよう協力の要請をしました。



名古屋支部で配布された「NO不法投棄」のステッカーは、事務局3階会議室に見本として貼ってあります。参考にされたい場合はお尋ねください。



尾張西支部

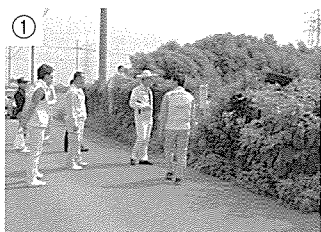
他地区から持ち込まれたらしき一般廃棄物の不法投棄を発見

尾張西支部（富田昭夫支部長）の不法投棄防止パトロールは支部内を5地区（津島・愛西・蟹江、あま・大治、弥富・飛鳥、清須・北名古屋、一宮、稲沢）に分けて各地区ごとに実施されました。

弥富・飛鳥地区の不法投棄防止パトロールは、6月26日（水）に実施。午前9時、飛鳥村役場駐車場に“適正処理推進”と書かれたベストを着用した支部会員9名が集合しました。副支部長 佐藤智和氏の挨拶、飛鳥村役場保健環境課の担当者から不法投棄現場の情報について報告を受け、巡回の車3台に分乗してパトロールに出発しました。

①・②飛鳥村新政成地区の現場は、畑に挟まれた細い道路脇にフェンスが立てられ、不法投棄禁止の看板及び監視カメラも設置されていました。そこに、廃タイヤ、本箱他木製家具、マットレス、ペットボトル、コンビニ弁当箱等を雑草で隠すように不法投棄されていました。

③同地区の現場は、堤防脇の道路沿いに高いフェンスが立ち並び、立入禁止の場所にペットボトル、



弥富・飛鳥地区のパトロールに参加された皆さん

段ボール、炊飯器等の家電、建築資材等が捨てられていました。昨年より量は減少してきましたが、一般家庭からの廃棄物と思われる物が、不法投棄されていました。

④同地区木場東緑地脇の現場は、布団、段ボール、園芸用資材の袋等が不法投棄されていました。

現在弥富市役所が工事のため十四山支所環境課に仮移転されており、担当者から市の北部では不法投棄現場は見かけないが、南部ではまだ見かけるとのことでした。

⑤弥富市富浜地区の現場は、広大な埋立地が広がる巨大な物流センターの近くの道路脇です。他市の指定ごみ袋に入った布団、発泡スチロールの箱、段ボール、他市の広報誌、チラシや雑誌等が捨てられていました。

⑥同地区の現場は、コンテナ基地へ向かう道路の脇道を進んだ空き地です。大量のペットボトル、雑誌、他市の住所が書かれた郵便物、段ボール、病院名が書かれた看板など一般廃棄物収集業者、解体業者が不法投棄したかのような廃棄物が捨てられていました。産業廃棄物の不法投棄は年々減少していますが、この地区は広大な埋立地が広がり空き地も多いです。大きな道路の脇にありますが、夜間は街路灯が全くないため、他の地区から容易に不法投棄されやすい環境にあるのではないかと、この事でした。



尾張北支部

遊歩道、山林、高速道脇の茂みに廃棄物が不法投棄、敷地内に不適正保管

尾張北支部（金田英治支部長）不法投棄防止パトロール報告会が、6月5日（水）午前11時からグリーンパレス春日井（春日井市東野町）で19社23名が参加し開催されました。

来賓として尾張県民事務所廃棄物対策課主幹 山本文晴氏、協会専務理事待遇 堀部隆司氏が出席しました。

報告会は中西 隆委員の司会進行で行われ、金田支部長は挨拶で「年毎に各社の資料に工夫が凝らされていることを感謝申し上げます。資料末尾には当支部が昨年報告した不法投棄防止パトロールの結果を、行政がどのように対応されたのかを掲載しました。」と述べました。

来賓挨拶で堀部氏は「中国の環境規制により廃プラスチック類が輸出できなくなり、国内に滞留し処理業者さんも能力いっぱいであるという話を聞きます。まだ不法投棄という話は聞いておりませんが、今後廃プラスチック類の不法投棄



来賓挨拶をする堀部専務理事待遇

が出てくるのが懸念されています。そういったことを含めて、今後もパトロールをしていただき、不法投棄の防止にご協力いただきたいと思います。」と述べました。

報告会は9社のパトロール結果を、各社の担当者が写真、地図を資料として発表が行われました。

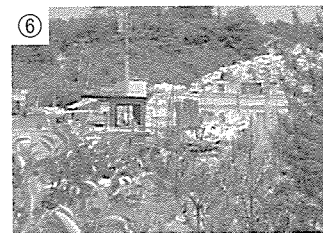
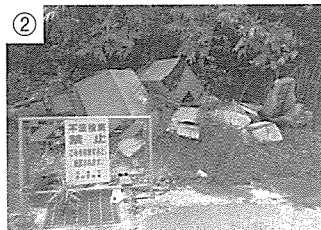
事例では、①タイヤ、マットレス等が不法投棄されている。（愛知池運動公園付近）②道路沿いにテレビ、ベッド等が不法投棄（日進市米野木町）③テレビ、スピーカーアンプ等が不法投棄（瀬戸市余床町）④家電品が不法投棄（定光寺自然休養林内）⑤トタン板、パイロン等が不法投棄（日進市米野木町北山）⑥許可なくコンクリートガラを重機で破碎（長久手町）等の報告がありました。

尾張県民事務所廃棄物対策課山本主幹は、「行政の対応については愛産協から県に報告があり、管轄の県民事務所が情報を受け現地確認しております。大部分が一般廃棄物のため市町村への情報提供をして、現場を片付け不法投棄しにくい環境にするよう要望しています。産業廃棄物と認定された不適正保管等については、違反者を特定し行為者に対して理解と協力を得て行政指導を行い、法を遵守するように対応していますので、皆様の情報提供をお願いします。」と述べ、昨年と変わっていない現場について状況説明がありました。



講話をする尾張県民事務所 山本主幹

続いて同氏が講師となり、「廃棄物処理施設の事故時対応の流れ」と題して講話があり、廃棄物処理施設の発災について、どのような手順で対応が進められていくのか例を挙げて説明がありました。



尾張南支部

知多県民センターと合同で知多半田駅前にて不法投棄防止啓発活動

5月31日(金)午後5時30分より名鉄知多半田駅東口広場において、尾張南支部(金田英和支部長)の不法投棄防止活動として、『不法投棄防止』と書かれたノベルティを配布する街頭キャンペーンを行いました。

参加者は支部会員19名、行政からは愛知県尾張県民事務所知多県民センター環境保全課廃棄物対策グループ主幹 村上浩幸氏、同主事 石井沙織氏、同主事 松下由梨氏、事務局からは環境アドバイザー 小野田敏也氏です。

当日会員は、背中に「STOP!!不法投棄」とプリントされた赤のベストを着用しました。他にも通行人から注意を引くように、「STOP!!不法投棄」と書かれた黄色のぼり、協会名が記載されたのぼりを立てて活動をアピールする準備をしました。

今年で5回目を迎える知多半田駅での啓発活動に対し、村上主幹からは「これまでの不法投棄防止キャンペーンにより、不法投棄が減ってきていますので尾張南支部の皆様へ感謝いたします。」とお礼の言葉が述べられました。

ノベルティは数か所に別れて配布し、知多半田駅跨線橋下、駅前ロータリーを囲む歩道、大



挨拶をする知多県民センター 村上主幹



知多県民センターの方々と参加された皆さん

型スーパーマーケット前、半田市市民交流センターがある複合商業施設前、バス停留所などの各所に数名ずつ移動しました。

配布物は、「不法投棄防止キャンペーン(不法投棄ダメ!)」と書かれたティッシュペーパー(500個準備)と、県民センターから提供された「ストップ!ポイ捨て」と書かれた、青色の軍手とボールペンを道行く人に手渡ししました。

受け取ってくださった方は、ティッシュペーパーに書かれた文面を興味深く眺め、「何のキャンペーンですか。」と聞かれる方、「ありがとう、頑張ってるね。」と声をかけていく方など好意的な反応でした。

5年目を迎えた不法投棄防止啓発活動は、徐々に市民の方に根付き、ポイ捨て防止や不法投棄防止の行動につながっているのではないかと実感しました。ノベルティは1時間ほどで配布し終え、金田支部長、村上主幹より閉会の挨拶が述べられ解散となりました。



駅前ロータリー広場や駅跨線橋を上り下りする方々にノベルティを渡し不法投棄防止をアピールしました。

西三河支部

産業廃棄物の不法投棄は減っており、地域社会の環境保全に回収、処分

西三河支部（梅谷岳志支部長）不法投棄防止パトロール報告会が、6月27日（木）午後4時から竜美丘会館レストランローレイ（岡崎市東明大寺町）で支部役員19名が参加して行われました。

報告会では梅谷支部長の挨拶があり、次に2社からパトロール結果について報告書の写真と地図を参照し、状況説明がありました。

①西友岡崎店、北川自転車置き場のはずれに自転車が7・8台放置されており、名前や住所等は削られた跡があり不明です。同店でも対応に困っているとのことでした。（岡崎市戸崎町）

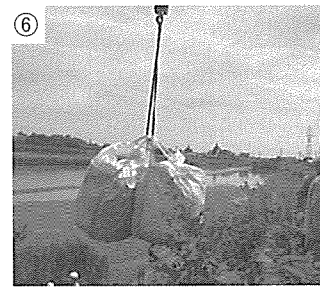
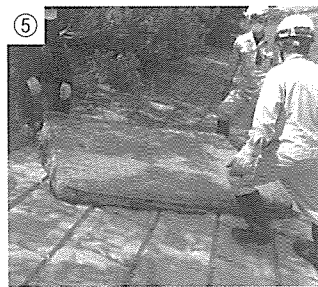
②～⑦刈谷市泉田町沖ノ河原河川敷に、ペットボトル、アルミ缶、生活雑貨品、ソファ、マットレス、テーブル等の家具類、フレコン袋などが不法投棄されていました。



不法投棄防止パトロール報告会に参加された皆さん

従業員32名で、500kg弱の不法投棄物をコンテナ車2台、軽トラック2台で回収、処分しました。（サンエイ（株））

地域社会の環境保全を図るため、社員多数が参加して不法投棄物の撤去作業を行ったとの報告がありました。参加者からは、産業廃棄物不法投棄はほとんど見かけず、一般廃棄物の不法投棄が目についた、との感想が上がりました。



東三河支部

支部内を隈なくパトロール、不法投棄防止活動の成果が出た地区もあった

東三河支部（鬼頭秀幸支部長）不法投棄防止パトロールが6月18日（火）に実施されました。

当日は豊橋公園駐車場に午前9時に集合し、東三河を6エリアに分け、6班でパトロールをしました。

①豊橋市内・国道1号線より北側

浄化槽6～7台が放置。冷蔵庫2台と廃プラが少々。2地区で、不法投棄された廃棄物が全く無い。豊橋警察署の看板や不法投棄捜査中のテープが貼ってあり、抑止力になったと思われる。

②豊橋市内・国道1号線より南側

一般ゴミ、ペットボトル、ブルーシートが不法投棄されていた。

③豊橋、田原市内・神野新田より田原市

冷蔵庫、テレビ、一般廃棄物が大量に不法投棄されていた。



不法投棄防止パトロール開会式・集合場所の豊橋公園駐車場

④蒲郡市内、御津地区

農業用ビニール資材、スキーキャリア、木くず、木パレットが山道の崖下に不法投棄されていた。古タイヤ、ボール缶、空き缶、廃プラスチック、農業用ビニールが林道の崖下と道沿いに不法投棄されていた。

⑤新城市、設楽町内

アスガラ、コンガラが3㎡くらい不法投棄されていた。中間処理施設の跡地に建設系廃棄物の他にミンチごみが不法投棄されていた。

⑥豊川市内・御津地区を除く

林道横に不法投棄されていた。

パトロール後は、午後1時30分から豊橋商工会議所にて、「パトロールの報告会」が開催され、行政の方々が参加され、各エリアを巡回した結果報告がされました。報告の中に、昨年パトロールした場所に再度不法投棄されていた場所がありました。しかし、警察署の「不法投棄禁止」の立て看板や、不法投棄防止と書かれた黄色のテープが、山道の脇の木々に張り巡らされていた場所は、不法投棄がされおらず、これらが抑止力となったようで今後の参考となったとのことでした。

